

## 令和5年度 宇都宮市食育推進会議 議事録

■ 日 時 令和5年8月30日（水）午前10時00分から午前11時00分

■ 場 所 宇都宮市役所 14大会議室

■ 出席者

### 1 委 員（13名）

長谷川武士委員，大森玲子委員，菊池克利委員，北條雅人委員，石戸奈緒美委員，  
甲賀成美委員，福田治久委員，高橋友久委員，小関裕之委員，寺内美栄子委員，  
荒川昭子委員，坂本理江子委員（委員名簿順）

※ 欠席委員（7名）：渡辺道仁委員，遠藤秀樹委員，手塚浩子委員，鈴木桂子委員，  
塩澤美枝子委員，中野智之委員，矢田部匡広委員

### 2 事務局（9名）

【保健福祉部】 部長，次長（保健衛生担当）

【健康増進課】 課長補佐，企画グループ係長，健康づくりグループ係長，職員4名

■ 公開・非公開の別 公開

■ 傍聴者・記者 0名

■ 会議経過

### 1 開 会

- ・ 委員の過半数が出席しており，本会議は有効であることを報告
- ・ 「附属機関等の会議の公開に関する要領」に基づき，会議公開について説明，委員了承
- ・ 所定の手続による事前の周知の結果，傍聴希望者及び記者は0名

### 2 委員紹介【省略】

### 3 会長・副会長選出

- ・ 委員改選に伴い，新たに会長及び副会長を選出
- ・ 宇都宮市食育推進会議規則に基づく委員の互選により，会長に大森玲子委員，副会長に長谷川武士委員を選出
- ・ 会長及び副会長よりあいさつ

### 4 あいさつ【省略】

### 5 議事

- (1) 第4次宇都宮市食育推進計画における重点事業の取組状況等について

## 6 委員からの主な意見・質問等（要旨）

### (1) 協議事項

「第4次宇都宮市食育推進計画」における重点事業の取組状況等について

#### ● 委員

計画は5か年計画であり、コロナ過などによって重点科目、評価科目の変更などの柔軟な対応が必要なのではないかと。また、評価については、参加者数や実施回数などの目標値があり、概ね順調となっている。今後は、個人や団体について、伝わり方や行動変容など満足度を評価していく必要があるのではないかと。

#### ○ 事務局

1点目については、今回は計画の初年度評価であることから、当初設定した項目で評価していただいたが、来年度は状況を確認し、重点事業の入れ替えや活動指標の変更について検討していきたい。

2点目については、毎年市民の意見を捉えるということは難しく、行政の活動量を毎年捉えているが、計画最終年度には、行動変容について調査する予定である。また、現在「健康うつつのみや21」計画改訂に伴う市民意識調査を行い、食育の項目もあることから、こうしたものを活用し、来年度以降に反映させていければと考えている。

#### ● 委員

基本施策1のNo. 3のR4の目標値が1件となっている基準は。また、販売は県内27店舗で行ったのか。

#### ○ 事務局

自然に健康になれる食環境づくりということで、スーパーマーケットと学生と連携し、まずは1カ所から取組を始めて、今後市内に1件ずつ広げていくということでプロジェクトの数の目標値として1件としている。販売については、県内27店舗である。

#### ● 委員

基本施策7の「課題と対応方針」で「郷土料理」や「伝統料理」という記載があるが、小中学校では郷土料理など特色ある学校給食が出されているところがあるが、全国的には給食費は公会計化となってきており、これは郷土料理や伝統料理の提供を難しくするところがあるので、注意してみていかなければならない。

#### ○ 事務局

学校給食の現場で、伝統料理が数多く出されるようにといった委員の見識からのご意見であり、今後も出されていくよう務めていく。なお、No. 18の実績値は、学校給食における提供回数ではなく、各地域において開催された伝統料理講座の回数としている。今後も目標値に限らず、数多くの講座を開催していけるよう努力していく。

● 委員

活動指標については、今後柔軟に対応するとのことだが、No. 4及びNo. 17の目標値が市内の学校数となっており、すでに第4次計画以前から実施していることを踏まえると、これでよいのか疑問である。取組の回数や児童への伝わり方といったところを検討すると成果指標につながっていくと考えるがいかがか。

○ 事務局

第4次計画が策定されてから初年度の評価であり、今回はこの活動指標で評価を行うことになるので、今後、令和8年度の成果指標達成のため、活動指標については、変更も含めて検討していきたいと考えている。

● 委員

最近、夏休みなどで子供たちが給食を食べられず、低栄養ということが話題になっており、食の貧困・格差があると感じている。民間の子ども食堂やフードドライブはあるが、実際に必要としている人に行き渡っているように見えない。成長期の低栄養は問題であり、行政においても「おうちでごはん」ということで子供の成長につなげてほしい。

○ 事務局

子ども食堂の食事の提供状況は、昨年度2月の食育推進会議の子ども食堂8カ所から、現在10カ所に増え、貧困に悩んでいる家庭に少しでも栄養のある食事を提供できる機会徐々に広がっており、今後も拡大していく。子供政策で、子供の健全育成に関する計画の中間見直しなどに取り組んでおり、実態の把握に努めていく。また、新たな課題が出た時には所管課に食育推進会議でのご意見を伝えていく。

● 委員

「おうちでごはん」でナッジとはなにか。また、食品ロスのNo. 13の実績が目標値に対して208%となっているのはなぜか。

○ 事務局

1点目については、よりよい選択へと気づかれずに誘導するという行動経済学に基づいたもので、例えば店の中に足跡をつけて、何となく商品に誘導するというものである。

2点目については、目標設定時とは異なり、令和4年度には通年で受け付けるよう事業を前向きに変更したので、実績として高い数値をあげることができた。今後は目標値をあげていく。これは「廃棄物処理基本計画」で位置付けている事業なので、改訂と併せて目標値も変更していく。

● 委員

計画を立てた時と評価、次年度への反映やそれに対する評価が資料からわからない部分があるので、修正してほしい。

## ○ 事務局

計画全体では80弱あり、成果指標の達成につながる重点事業で達成度を評価した。これは、重点事業そのものの進捗を評価することによって、この計画そのものが順調に進んでいるかどうかの目安としているという評価の仕方である。

今後、事業内容を分かりやすくするために、資料作成については工夫していきたい。

## 7 その他

- ・ 第18回うつのみや食育フェアの概要報告について説明
- ・ おうちでごはん健康提供事業の概要報告について説明

## 8 閉会